



The Hitoyoshi Rotary

人 吉

通 算 2781回
2014年1月17日
第 25 回 例 会
毎 週 金 曜 日

ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を

Engage Rotary, Change Lives

2013 - 2014年度 R I 会長
ロン D. バートン

会報編集 堤 脩 委員

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎@2171 ◀ 例会場 事務局 ▶ 清流山水花 あゆの里内 ☎@6665 ☎@6505

[URL] <http://www12.ocn.ne.jp/~hrc/> [E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

クラブ活動記録 [URL] <http://hrcwatanabe.jimdo.com/>

1 月 ロータリー 理解推進月間

点 鐘 渡辺洋文会長
歌 唱 ヲグリーガー 漆野智康委員長
国 歌 「君が代」
R S 「それでこそロータリー」
司会・進行 平田フクプロگرام委員長

会長の時間

会長 渡辺洋文



今月はロータリー理解推進月間と言う事ですので、ロータリーの事についてちょっとだけ触れておきたいと思えます。

皆さんはロータリーの公式文書の中に決議23-34と言うのが有るのをご存じでしょうか？

そのことについて書かれた文章が有りましたのでご紹介しておきます。

数多いロータリーの公式文書の中で奉仕理念に触れているのは「決議23-34」のみです。ロータリーにはService above selfとHe profits most who serves best という2つの奉仕理念があります。

一つは、弱者を助ける人道的奉仕活動、すなわち社会奉仕と一部の国際奉仕活動であり、その理念をService above self (超我の奉仕)という他人のことを思いやり、他人のために尽くすことと定義されている社会奉仕、国際奉仕を含む人道的奉仕活動の理念です。もう一つは、事業の継続的な繁栄を願う職業奉仕理念であり、その理念をHe profits most who serves best. 「よりよく奉仕する者、より多く報われ

る」というモットーで表しています。

これはアーサー・フレデリック・シェルドンによって提唱されたものであり、ロータリー運動の本質ともいべき職業奉仕の理念であります。

さて、一般的に決議23-34と言われているのは、これが1923年に開催されたセントルイス国際大会に提出された第34号議案であったからです。91年前のこの決議23-34がロータリーにとって極めて重要なドキュメントであることは間違いありません。

そこで、決議23-34について次の大切な2つのポイントがあります。

1. 私達はロータリーでI serve, We serveと表現しておりますが、決議23-34の中での表現はindividually service (個々人の奉仕)およびcollectively service (集団の奉仕)と呼んでいます。ロータリーはあくまでindividually service (個々人の奉仕)である。しかし、奉仕の心を培ったロータリアンの個々人が集まって、すなわちクラブや地区といった団体が行なう個々人の奉仕をCollectively service (集団の奉仕)と呼んでいるのです。すでに1923年の決議23-34の文中に個人奉仕であるindividually service と集団の奉仕で団体奉仕であるCollectively service をするように奨励している。クラブでの従来地区補助金や未来の夢計画での奉仕は団体奉仕となります。

2. 現在の手続要覧では決議23-34が社会奉仕の項目に入っており、その表題も「社会奉仕に関する1923年の声明」となっているため社会奉仕の指針であると間違っ解釈している人が多いのですが、ロータリーにおいて四大奉仕の考え方が導入されたのは1927年からであり、その際に文中で使われているCommunityという言葉が、Community Serviceすなわち社会奉仕という言葉と関連付けられて、タイトル「社会奉仕に関する1923年の声明」と変更されたものです。

本来は、この決議23-34は社会奉仕のみではなく、すべての奉仕活動の指針であることを忘れてはなりません。私達ロータリアンはこの決議23-34の第1項にある2つのモットーをよく理解して、今後の奉仕活動の実践として地域貢献、社会貢献、国際貢献にもいかしていかなければいけないと考えます。

と言う事で、ロータリーに対す理解を深めて頂きますようよろしく御願いたします。

堅い話ばかりでは疲れますので違う話をしたいと思います。やはり釣りの話をしない訳にはいかないだろうと思いますので、その時期の釣り情報をシリーズでお届けしたいと思います。2月から5月にかけては乗っ込みの鯛がメインのターゲットになります。乗っ込みというのは、産卵の時期、旬の魚と言う事なんですが、脂がのって美味しい時期でもあります。錦江湾では、この乗っ込みの鯛の事を、入り鯛と言いますが、沖合から湾内に入ってくるからだと思えますが、玄界灘ではのぼり鯛、関東の方では桜鯛と言うみたいです、呼び方が違うだけでなく釣り方も場所によって違います、錦江湾が多いんですが、錦江湾では、船をいかりでポイントの上に固定し、天秤に撒き餌かごと錘を付けて、仕掛けのハリス10メートル位で撒き餌も付け餌も冷凍のオキアミを使う船の係釣りが基本的な鯛釣りですが、春の乗っ込みのシーズンをメインにやる釣り方が有って、ナイロンかフロロカーボンの道糸を300メートルリールに巻いて、錘も何にも付けないで、仕掛けのハリスと直結して、船の上からこの場合も船はいかりで固定して、撒き餌のオキアミをばらばらと蒔きながら、仕掛けを撒き餌と同調させながら少しずつ潮の流に乗せながら出していく、糸をチョロチョロと出していくので、この釣り方を錦江湾では「チョロ釣り」と言います。深さが50メートルから70メートルの所で釣りますので、道糸を70メートルから100メートル出した所で、あたりが出る事が多いのですが、潮が遅い時は、出し過ぎると根掛かりしたり、潮が速い時は、棚まで沈まず釣れなかったりするので、錘を少しずつ足しながら鯛の居る棚に仕掛けが届くよう微調整をしていきます。あたりがあると、今までチョロチョロと出していた道糸が、いきなりもの凄いスピードで走り出します、すかさず合わせを入れて、リールを巻き上げるのですが、錘も何も着いてないのでダイレクトに鯛の引きが楽しめる、シンプルで、ダイナミックなとても楽しい釣りで、釣り仲間も皆毎年楽しみにしている釣りでもあります。

玄界灘や天草では、小さな錘に針が着いていて生きたエビを付けて釣るテンヤ釣りが基本の釣り方で、時々行きますが、これもまた面白い

釣りだと思えます。

釣り人は、小さな獲物を沢山釣るより、大物を1匹仕留めるのに執念を燃やしている人が多いので、最後の1投残りの1秒まであきらめてはいけないという事を身をもって体験している人が多いのかも知れないなと思います。

諦めなければ、必ずチャンスはやってくる。と言う事で会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 井手富浩

【連絡事項】

①日田RCより創立50周年記念式典の案内が届いております。

日時；6/14(土) 14:00～

場所；日田市民会館「パトリア日田」

やまびこホール

祝賀会；18:30～ 場所：三隈川遊船

②人吉市青少年育成市民会議より第4回育成部会の開催案内が届いております。

日時；1/22(水) 19:00～

場所；人吉市役所別館2F 203会議室

→馬場新世代委員長へお渡しします。

同じく市民会議補導部会より、「有害図書等環境調査」実施依頼が届いております。

日時；1/30(木) 15:00～16:30

集合場所：人吉市役所別館2F 203会議室

→湊田新世代副委員長へお渡しします。

同じく市民会議より、「子ども会交流発表会」の開催案内が届いております。

日時；2/2(日) 13:30～

場所；東西コミュニティセンター 2F 会議室

→馬場新世代委員長へお渡しします。

【配布物】

①地区より、2013～2014年度 国際ロータリー出版物注文用紙が届いております。配布致しますので、注文の方は、事務局まで御申し込み下さい。

②一般社団法人ロータリーの友事務局より「ロータリーの友」電子版の案内が届いております。配布致しますので、御確認下さい。

③ガバナー月信1月号届いております。皆様へ配布します。

【回覧物】

①牛深RCより創立50周年記念誌

②指宿RC週報

③荒尾RC週報

④ハイライトよねやま166号

⑤人吉総合病院広報誌「翔」12月号

【例会変更・取止め】

①八代南RCより1/28→18:30～

「夜間例会」の為「八代グランドホテル」

〃 2/11→例会取止め クラブ定款に基づく

第2回米山功労者マルチプル
感謝状贈呈
伊久美寛志会員



出席率報告

委員 中村太郎

本日の出席率		
会員数	65名	83.87%
出席免除	3名	
欠席者数	10名	
出席者数	52名	

*届け出欠席 尾方・本田・有村・宮山・大賀・外山・馬場
 淵田・村山・高山
 *出席免除会員 (b) 増田, 愛甲, 山本

【会員よりご案内】

延岡研一会員

人吉地区法人会から新春公開講演会のご案内です。ぜひご参加下さい。

演題「日本銀行の役割」
 ～アベノミクスの現状と課題～

講師；日本銀行熊本支店
 総務課長 伊村宏樹 氏

期 日：平成26年1月27日（月）

場 所：アンジェリーク平安（人吉市）

入場無料です。

主催；人吉球磨地区税務関係団体長連絡協議会

会務報告

【親睦委員会】

委員 原田知一郎

1月の誕生祝い

堤 脩 会員 10日	上田一精会員 19日
延岡研一会員 20日	友永和宏会員 22日
田中信也会員 24日	有馬弘章会員 26日
村山能史会員 31日	



1月の結婚祝い

淵田秀雄会員 11日	有馬宏昭会員 13日
上田一精会員 15日	鳥井正徳会員 16日
高山征治会員 17日	青木一幸会員 23日
小林祐介会員 29日	

金婚・銀婚祝い

親睦委員会から、金婚祝い・丸尾孜会員、銀婚祝い・中村太郎会員へ、お祝いの記念品をお贈りしました。

【奉仕プロジェクト委員会】



国際ロータリー第2720地区
 創造的奉仕プロジェクト
 セミナー報告
 2013年12月8日
 熊本保健科学大学

社会奉仕委員長 立山茂

1. グローバル補助金の申請を
 (赤山ガバナーより)

地区補助金と別に地区に裁量が委ねられている補助金です。申請がないので現在2,240万、今年もないので加えると2,800万を超えます。次年度、次々年度の方はぜひ申請を、とのことでした。

2. 「ロータリーに棄物無し」
 (本田光曠PG)

ロータリーを楽しくするにはどうしたらいいかを皆で語り合ってください。先輩は行動を示し背中を見せて後輩を引っ張っていきましょう。今ロータリーに足りないのは実践です。

自らやっておられるベトナムの子供支援のお話をされました。病気などで永く生きられない子供たちを一流のレストランに連れて行って夢を語り合う。言葉の話せない子は絵をかいてもらう話でした。立派な活動に胸が熱くなりました。

3. ユニークな奉仕活動をされているクラブの
 パネルディスカッション

特に印象的だったのは、大分キャピタルロータリークラブです。1回にやるイベントの集客が800人とか2,000人とかとにかく群を抜いています。なぜそんなに人が集まるのか、理由は次の3つだそうです。

1. とにかく皆んなが仲がいい。
 協力し合いよく動く。
2. プラザというフリー誌の社長が会員で
 しょっちゅう掲載してもらっている。
3. 社会奉仕委員長がITの社長なのでネットで配信

発足14年、会員46人、30代、40代が多いクラブです。皆さん今後大分キャピタルRCに注目してみましよう。

【雑誌委員会】

ロータリーの友1月号の紹介

紹介者 坂井初男会員

ロータリーの友 THE ROTARY NO-TOMO



ロータリーの友1月号の中から今一度読んでいただきたい内容につきまして抜粋して紹介いたします。



まずは、8ページの2012-13年度田中作次国際ロータリー会長の『R I 会長年度を振り返って；世界の国々で見たこと、感じたこと』です。ロータリークラブのある地域は、クラブにない地域よりも必ず

良い場所になると私は信じていますという書き出しに始まり、母親のいない子供が一人でも少なくなるよう活動している事や20億人の子どもをポリオから守ってきた事などロータリーによって救われた子どもたちがたくさんいることが紹介されています。最後に「ロータリーほど私たちに生きる力と幸せを与えてくれる組織は、他にない」と結んであります。

12ページですが、「比べてみよう 日本と韓国のロータリー」と題して会員数の傾向、性別及び年齢などが比較されています。日本の場合、韓国や世界と比較した場合、女性の会員率が低いこと、高齢化が見られます。

36ページには、「地区別クラブ数・会員数・出席率一覧表」が掲載されています。我が第2720地区の会員数は前年10月末と比較した場合▲24です。全34地区合計でも▲279と減少しています。新規会員入会が望まれています。

67ページには、『わがまち そしてロータリー “山梨県甲府市”』が紹介されています。古いものを大切にし継続が美德の土地柄と題し“昔から続く企業が案外多く、どこも元気で地域とのつながりも強い町”として元朝日新聞記者で現在はフリーとして活動している宮本貢氏の取材内容が書かれています。甲府出身者が創業した有名企業3社を紹介し強い地域とのかかわりとさまざまな社会貢献活動が記事となっています。地域のつながりという意味では「人吉」も負けてはいないと思います。ちなみに“都道府県別長寿企業輩出率”を調べてみました。長寿といわれる企業の中で創業100年を超える企業の割合が最も多いのは京都府で、2位が山形県、3位が島根県です。九州では13位佐賀県、24位長崎県、30位熊本県、32位大分県、40

位福岡県、44位鹿児島県、同じく44位宮崎県、47位沖縄県となっています。

その他、2012-13年度ロータリー活動フォト・コンテスト入選作品（18ページ）や地区大会略報Ⅱ（29ページ～31ページ）などが掲載されています。

以上、1月号の紹介でした。

【ニコニコ箱委員会】 副委員長 齊藤日早子

- ・板井会員 前週での金婚式のお祝いいただきありがとうございました。
- ・丸尾会員 金婚の祝いありがとうございました。
- ・水野会員 銀婚お祝いありがとうございました。
- ・友永会員 誕生祝いありがとうございます。さらに精進致します。
- ・鳥井会員 結婚記念のお祝いをいただきました。何回目かは忘れましたが、まだ続くようにがんばりたいと思います。
- ・田中会員 誕生祝いありがとうございました。
- ・延岡会員 お誕生日のお祝いありがとうございました。
- ・有馬会員 結婚・誕生お祝いいただきました。ありがとうございます。
- ・堤脩会員 誕生祝ありがとうございました。

【R財団委員会】

- ・岩本会員 金婚式ありがとうございました。
- ・延岡会員 お誕生の祝いありがとうございました。
- ・有馬会員 結婚・誕生お祝いいただきました。ありがとうございます。

【米山記念奨学委員会】

- ・伊久美会員 二回目の米山功労者になりました。新たに三回目のスタートをはじめます。
- ・中村会員 本日は銀婚式祝いありがとうございました。

点 鐘 渡辺洋文会長